

製品名: AMPK ガンマ 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86981**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:38 kDa

抗原情報

遺伝子名	AMPK gamma 1
別名	AMPKG
遺伝子 ID	5571
SwissProt ID	P54619
免疫原	ヒト AMPK ガンマ 1 の合成ペプチド

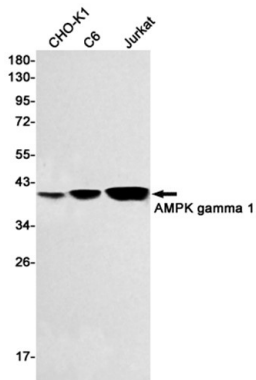
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP 活性化プロテインキナーゼ（AMPK）の調節サブユニットです。AMPK は、 α

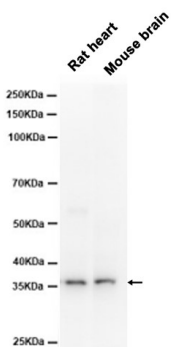
触媒サブユニットと非触媒 β サブユニットおよび γ サブユニットからなるヘテロ三量体です。AMPKは、細胞のエネルギー状態を監視する重要なエネルギー感知酵素です。細胞の代謝ストレスにตอบสนองして AMPKは活性化され、脂肪酸とコレステロールの de novo 合成の制御に関与する重要な酵素であるアセチル CoA カルボキシラーゼ (ACC) と β -ヒドロキシ β -メチルグルタリル CoA 還元酵素 (HMGCR) をリン酸化・不活性化します。このサブユニットは、AMPK の γ 調節サブユニットの一つです。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



AMPK ガンマ 1 抗体 (1:500 希釈) を使用した CHO-K1、C6、Jurkat 細胞溶解物中の AMPK ガンマ 1 のウェスタン ブロット検出。



AMRe86981 を 1:1000 で使用して、ラットの心臓、マウスの脳組織からの抽出物をウェスタンブロット分析しました。